

Radix

デジタル簡易無線用 八木アンテナ
(351.0~351.7MHz・全97ch) <追加chに対応>

《RPY-351M3》

周波数	351.0 ~ 351.7MHz	F B 比	17dB 以上	ブーム長	500 mm
利得	8.15 dBi	最大入力	50W (FM)	回転半径	450 mm
インピーダンス	50 Ω	コネクタ	M-J	適合マスト	φ25~60mm
V S W R	1.5 以下	受風面積	0.02m ²	重量	500 g

有限会社ラディックス

〒266-0033 千葉市緑区おゆみ野南 5-10-6
TEL 043(292)4959 / FAX 043(292)4963 / MADE IN JAPAN

取扱説明書

2023.10. 1 改訂

このたびはラディックス製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に、取扱説明書をよくお読みの上正しくお使い下さい。
また、お読みになられた後は、大切に保存して下さい。

【 特 長 】

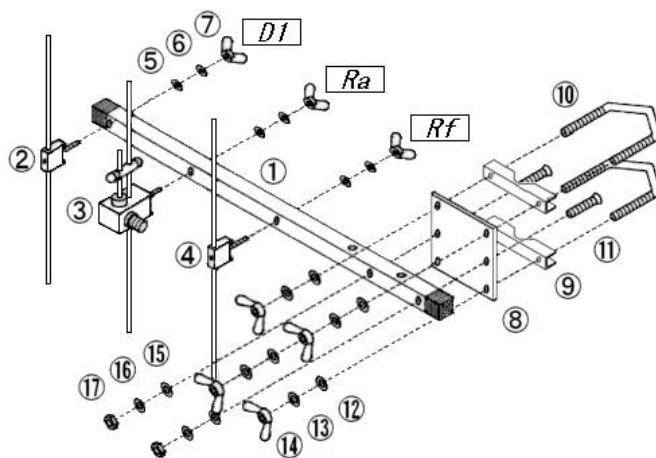
- ① デジタル簡易無線用の3エレメント八木アンテナです。
- ② エレメントは曲がりに強くサビにくいステンレス鋼（SUS304）ですので、軽くて丈夫です。
- ③ エレメントだけではなく、ネジ類もすべてステンレス製を採用しました。サビやすい部品はありません。
- ④ 取付金具付ですので、マストや手すりなどに直接取付が可能です。もちろん水平偏波・垂直偏波 どちらにも取付可能です。また、手持ちでの使用もできますので、ハンディ機とセットで移動用に最適です。（ケーブルは別売です）

安全にお使いいただくために

- エレメントが周囲の電線に接触すると感電したり、受信機が故障する恐れがありますので、電線のそばには設置しないでください。
- マスト等に取付の場合は落下防止のため、ネジ類のゆるみがないか定期的に確認してください。
- マスト等にアンテナの取付や取り外し時は、特に下の状況をよく見て、人通りなどのある時は絶対に作業をしないでください。また引っかけたりしないように周囲に何があるか確認後作業をしてください。
- アンテナを組み立てる時は安全な場所で行い、取り付ける際は十分注意し、高所にての作業の場合は必ず安全ベルトを着用してください。
- ベランダ等での作業は、手すりから身をのりださないように注意してください。
- 風の強い日や雨・雪の日、また夜間は危険ですので絶対に作業はしないでください。
- 手持ちでの使用の際は周囲の人に危険の無いように十分ご注意ください。
- ローテーター等に取り付けて、アンテナを回転させるときは、エレメント等に接触するものが無いように特にご注意ください。

パーツを確認しましょう

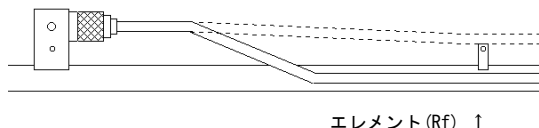
番号	部 品 名	規 格・寸 法	数 量
①	ブームパイプ	アルミ 15 [□] ×1000mm	1
②	エレメント(D)	ステンレス 3 ^φ ×384mm	1
③	エレメント(Ra)	ステンレス 3 ^φ ×408mm	1
④	エレメント(Rf)	ステンレス 3 ^φ ×422mm	1
⑤	平ワッシャ(M4)	ステンレス 4mm	3
⑥	S / W (M4)	ステンレス 4mm	3
⑦	蝶ナット(M4)	ステンレス M4	3
⑧	マウント板	アルミ t4.0	1
⑨	マウント・ブラケット	ステンレス 116×90	2
⑩	Uーボルト	ステンレス M6ー70	2
⑪	皿 ビ ス	ステンレス M6×30	2
⑫	平ワッシャ(M6)	ステンレス 6mm	6
⑬	S / W (M6)	ステンレス 6mm	6
⑭	蝶ナット(M6)	ステンレス M6	4
⑮	六角ナット(M6)	ステンレス M6	6



(注) ⑮六角ナット(M6) 4ヶは固定で設置する場合、⑭蝶ナット(M6)に替えてご利用ください。

組 立 方 法

- (1) ①ブームパイプに、②エレメント(D)、③エレメント(Ra)、④エレメント(Rf)、を表示に合わせてブラケットのネジ部を差し込み、⑤平ワッシャ(M4)、⑥S/W(M4)を通し、⑦蝶ナット(M4)でしっかりと手で締める。
この時、コネクタが後ろ〔④エレメント(Rf)の方〕に向いているか、確認する事。
- (2) 偏波面や取付位置を考慮し⑧マウント板を取り付ける。マウント取付用の穴は2組あります。取付に都合の良い方を選択してください。
- (3) ⑩Uーボルトに、マストなどの取付箇所を通し、⑧マウント板の穴に合わせて、⑨マウント・ブラケット、⑫平ワッシャ(M6)、⑬S/W(M6)、を通して、⑭蝶ナット(M6)か⑮六角ナット(M6)を用いて固定します。Uーボルトの通る穴は縦にも横にも通ります。取付に都合の良い方を選択してください。
- (4) MPコネクタの付いた同軸ケーブルをコネクタに接続する。同軸ケーブルは①ブームパイプに沿わせ、ビニールテープ等で固定する。
この時同軸ケーブルがエレメントに接触しないようにパイプの側面(実線)か、エレメントの金具の真上を通る(点線)ようにする。



【参考】 固定でお使いの場合は、防水のため、自己融着テープかビニールテープなどで巻いておくことをお勧めします。

設置上の諸注意

アンテナは、設置場所や設置方法によって性能や感度に影響があります。次の事項に注意して設置してください。

- (1) 金属製のマストや手すりにも直接取付られますが、周囲の金属製の物(他のアンテナや物干し竿など)からは、できる限り遠くに設置してください。
- (2) RPY-351M3 は、ブームの先端にある 矢印の方向に指向性がありますので、電波の到来方向(送信局の方向)に向けて設置してください。
- (3) アンテナを回転させる場合、周囲の影響により VSWR が若干変化する場合があります。

★★★ 感度が上がらない。故障では? という方へ ★★★

同軸ケーブルはチェックしましたか。見た目はへいきでも、古い同軸ケーブルは結構痛んでいるものです。わからない事がございましたら、当社までお気軽にご連絡ください。

●このアンテナはデジタル簡易無線用のアンテナです。この用途以外、規格外、または正常に動作していない状態でのご使用にて発生したトラブルにつきましては、責任を負いかねます。

●お買い求めいただいた製品は厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故等による破損等がございましたら当社までご連絡ください。